

〔店舗の省エネ事例〕

札幌市

佐藤水産株式会社 様

高断熱 + 創エネ・省エネで、 環境貢献度の高い新本社に

北海道の海産物専門店 佐藤水産株式会社様は2012年4月、札幌市に新しい本社ビルを完成されました。

太陽光発電システムによる創エネや、LED照明などの省エネ設備の導入、

さらには省エネ性や断熱性に優れた建物の構造もあいまって、

エネルギーの「自産自消」に一步近づいた建物となりました。

太陽光発電システム導入など 熱心な環境保護の活動

佐藤水産株式会社様は北海道石狩市で1948年に創業。品質にこだわった北海道の海産物を扱う専門店として発展し、現在は札幌市内を中心に直営販売店やシーフードレストランなどを手広く展開されています。

環境保護活動にも熱心で、2002年にはNEDO(※1)のテスト事業として、サーモンファクトリー工場(石狩市)の屋上に10kWの太陽光発電システムを設置。ほかにもハイブリッドカーが実用化されるとすぐ社用車に採用したり、レストランから出る生ゴミを肥料に再生したりと、さまざまな取り組みを進めておられます。

耐震性を考え本社を新築 省エネ性も大きなテーマに

佐藤水産様が環境保護の活動に取り組んでおられるのは、海の幸を扱う会社として「限りある資源を有効に利用

し、子どもたちに美しい地球を残すことが使命」と考えておられるからです。このため1964年に建てられた旧・本社はほぼ50年間、大切に使い続けてこられました。しかし東日本大震災をきっかけとして、社員の方々の安全性確保の面からも、耐震性に不安のある本社を新しい場所に新築する決心をされます。

新本社のテーマとして掲げられたのが、「エコでコンパクトな建物」。環境保護の観点から、北海道の冬の厳しさをできるだけ少ないエネルギーで快適に過ごせる、省エネ性の高いビルを目標とされました。

発電効率が決め手になった 「HIT215シリーズ」のご採用

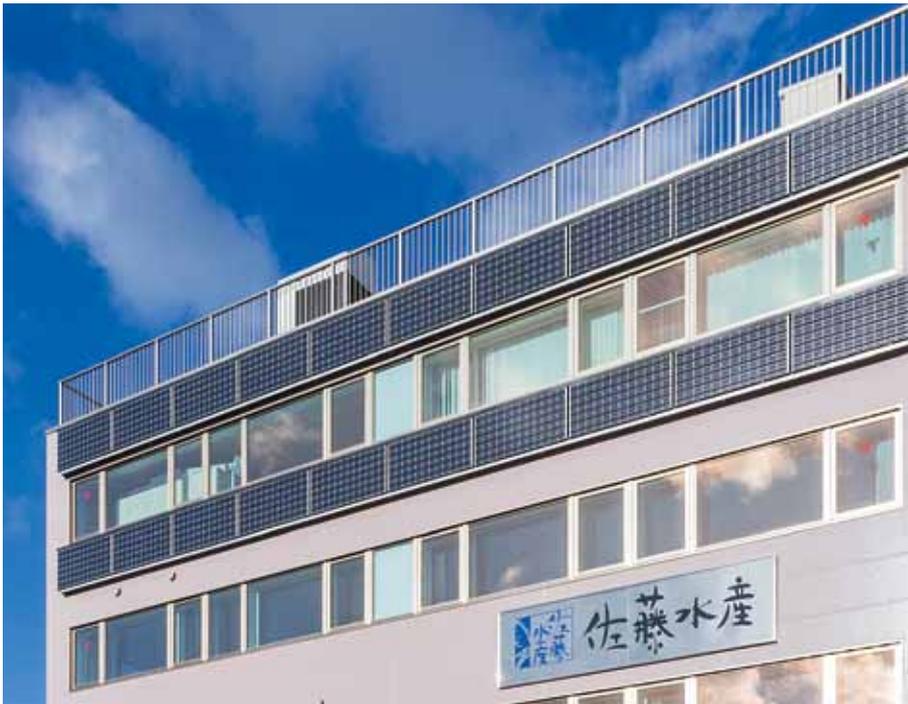
4階建・延床面積約1,600㎡の新本社は、海産物が集まる札幌市の中央卸売市場にほど近い、中央区宮の森3条に2012年4月完成。1階が直営の海産物販売店、2階から4階までが、本社スペースとなっています。

計画の当初から太陽光発電システムの導入を考えておられましたが、新本社では屋上スペースを有効活用するため、太陽電池モジュール(パネル)を壁面に取り付けることに。表面の角度が太陽光に対してやや斜めになるため、パネルには発電効率のよさが求められました。そこでご採用いただいたのが当社の「HIT215シリーズ」。執行役員 総務部長 伊勢谷敦志様は、「発電効率のよさと品質に対する信頼性が決め手になった」とおっしゃいます。

さらに省エネ性向上のために、本社の通路にLED照明「EVERLEDS(エバーレッズ) ワンコア(ひと粒)タイプダウンライト(人感センサ付)」や「LED誘導灯」「非常灯」を、屋上にはLED屋外用スポットライトをご採用。簡易デマンドモード機能の



1階が直営店舗になっている、佐藤水産様の新本社



南西と南東の壁面に計42面(約10kW)取り付けられた「HIT215シリーズ」。
太陽に対して最も効率の良い角度ではないが、モジュールの発電効率のよさでカバー(写真は南西面)



屋上を明るく照らすLEDスポットライト(防雨型)



「EVERLEDS ワンコア(ひと粒)タイプダウンライト」(右)は人感センサ付きでさらに省エネ。中央は非常灯

付いたエネルギーモニター「エネミエールS」で、いっそうの省エネを図られています。社用車のハイブリッドカーのためにEV・PHEV充電用 充電スタンド「ELSEEV Mode3(エルシーヴ モードスリー)」も国の補助金(※2)を活用し、導入していただきました。電気工事を担当された株式会社 東洋電気産業様も補助金情報を毎日ホームページでチェックし、募集が始まるとすぐ佐藤水産様に知らせるなど、情報提供に努められました。

建物の工夫も奏功し ZEB実現への第一歩

新本社ビルは建物自体にも、断熱性を向上させ、エネルギー使用量を削減するさまざまな工夫(パッシブデザイン)が凝らされています。窓は二重窓にした上で断熱性と遮熱性に優れたLow-E複層ガラスを使用。北海道産の間伐材からきたウッドファイバーを断熱材として壁面に封入されています。

パッシブデザインと省エネ設備でエネルギー使用量を削減し、最低限必要な電気は太陽光発電システムで極力まかなう、その考え方を具現化した省エネビルが完成しました。すでに店舗照明で使用する電力のかなりの部分を太陽光発電でまかなえることが判明。佐藤水産様は「エネルギーの『自産自消』」をさらに進め、美しい環境を次世代に継承したい」とお考えで、ZEB(ゼロエネルギービル)の完成へ向けて期待が高まります。

※1 独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構
※2 経済産業省「クリーンエネルギー自動車等導入促進対策費補助金」



「ELSEEV Mode3」で充電中の社用プラグイン ハイブリッドカー

電気工事会社様のコメント

株式会社 東洋電気産業
工事課長 池田慎也 様



当社は太陽光発電システムの施工実績も数多くありますが、壁面に取り付けるのは今回が初めて。「HIT215シリーズ」は壁面設置にも対応しており、スムーズに施工できました。また「ELSEEV」の設置のために補助金情報を毎日チェックし、受付開始を見逃さないように注意しました。補助金は工事着手前に申請しなければいけないため、受付開始日と工事日程との調整に苦労しましたが無事、申請が認められ、工事にも間に合って本当によかったです。